

用語解説

■ From Zero (フロムゼロ)

本計画を策定するにあたり、今後の稚内観光の担い手となるであろう若手の方々で構成されるワークショップのことをいい、ゼロから稚内観光を見なおそうという意味から **From Zero** と命名した。メンバーには、宿泊業、運輸業といった観光関連産業の方々だけでなく、商店街、大学、行政等の方々で構成されている。

■ URL

インターネット上に存在する文書や画像などの情報の場所を指し示す記述方式のことをいい、通常、ホームページのアドレス（住所）をいう。

■ シーニックバイウェイ

アメリカで生まれた言葉で、景観を意味する **SEAN** (シーン) の形容詞である **SEANIC** (シーニック) と、脇道を意味する **BYWAY** (バイウェイ) が組み合わさった言葉で、眺めの良い道という意味であり、「道」のつながりを通じて、地域の活性化、地域資源の再発見を目指すプロジェクトのことをいう。日本各地で取り組みが見られており、北海道にはシーニックバイウェイ北海道、東オホーツクシーニックバイウェイ等があるほか、宗谷には、宗谷シーニックバイウェイとして地域活性化に向けた取り組みが行われている。

■ オロロンライン

日本海オロロンラインといわれることもある。石狩市から稚内市まで、あるいは小樽市から稚内市までの日本海沿いの道路（国道 231 号、国道 232 号）をいう。本計画で用いているオロロンラインは、このうち、主として留萌市から稚内市までの区間を対象としている。

■ オホーツクライン

オロロンラインが日本海沿いの道路をいうことに対して、オホーツク海沿いの道路をいう。別海町から稚内市までのオホーツク海沿いの道路（国道 238 号）をいう。本計画では、このうち、主として網走市から稚内市までの区間を対象としている。

■ フットパス

フットパスとは、イギリスで生まれた言葉で、自然豊かな地域や田園地帯、歴史を感じる街並みなど地域に昔ながらのありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小道をいう。日本フットパス協会も組織されている。稚内市には、宗谷丘陵フットパスなどがある。

■ ロングトレイル

ロングトレイルとは、歩きながら地域の自然や文化を楽しめる道という意味で使われている。フットパスは、地域の小道を意味することに対して、ロングトレイルは、数 10km から 100km におよぶ長距離のコースが設定されており、大自然の中を数日かけて、沿線地域のものを食べ、宿泊しながら歩くことをいう。

■ 無線 LAN、Wi-Fi (ワイファイ)

無線 LAN とは、LAN コードを用いた有線 LAN に対して、無線通信を利用してインターネットにアクセスしたり、データや情報を送受信する方法のことをいう。最近では、無線 LAN の使える環境が整備されてきており、屋内だけでなく屋外の移動先でインターネットを使え

るところも多くなってきている。

Wi-Fi（ワイファイ）とは、この無線LAN業界が構築した規格のことをいう。したがって、無線LANとWi-Fi（ワイファイ）は、ほぼ同義語のように使われている。

■パケット通信

コンピュータ通信や携帯電話等において、データを小さなまとまりに分割して一つ一つ送受信する通信方式のことをいう。分割されたデータをパケットといい、データのほかに送信先のアドレスや、位置情報などの制御情報が付加されている。

パケット通信を使うと、その間の通信に途中の回線が占有されることがなく、通信回線を効率良く利用することができるというシステムであり、通常のパソコンや携帯電話によるメール送信はパケット通信で行われている。

■FREE SPOT（フリースポット）

無線LANのアクセスポイントを設置した駅や空港等の公共施設、宿泊施設、飲食店等や、それを使った公衆無線LANのことをいう。

■ポータルサイト

ポータルとは、入口、窓口あるいは玄関という意味であり、ポータルサイトとは、インターネットの入口あるいは窓口といえるもので、各種のサイトへの案内役ともいえるサイトのことをいう。本計画でいうポータルサイトとは、稚内の宿泊施設や飲食店等の企業サイトやイベント等の情報を提供しているサイトを集約したサイトを意味している。

■トレッキング

通常、山歩きを意味する。

■観光マイスター制度

稚内市民一人一人に、「わが街を知る」ための学習機会を提供するとともに、稚内の街に誇りを持ち、胸を張って「わが街を語る」ガイド役となってもらうため、初級・中級・上級と3段階に分けた検定試験を実施し、合格者には「稚内観光マイスター」と呼ばれる称号を与え、稚内が認める「ガイドの達人」として稚内観光振興に寄与することを目的としている。